

介護保険運営協議会会議録

会議名称	令和８年度 第１回洞爺湖町介護保険運営協議会	
開催日時	令和８年７月３０日（木） １８：００～	
開催場所	洞爺湖町役場 第２委員会室	
出席者	洞爺湖町介護保険運営協議会委員 １０名	
	事務局（担当部署）	総務部健康福祉課
議題	（報告事項） （１）令和７年度 介護保険事業の状況報告について （２）令和７年度 介護保険特別会計決算報告について （３）令和７年度 地域支援事業 実施報告について （４）第１０期洞爺湖町高齢者福祉計画及び介護保険事業計画の策定について （５）各種調査の実施について	
会 議 の 概 要		
☐ 開会 ☐ 会長あいさつ ☐ 議事 （報告事項） （１）令和７年度 介護保険事業の状況報告について （２）令和７年度 介護保険特別会計決算報告について （３）令和７年度 地域支援事業 実施報告について （４）第１０期洞爺湖町高齢者福祉計画及び介護保険事業計画の策定について （５）各種調査の実施について ≪質疑応答≫ 委 員 計画策定の趣旨にある「介護現場の生産性の向上」とはどういうことですか。 事務局 介護現場の基本指針が国から公表されたところで、都道府県が主体になって介護人材の確保に関するプラットフォームを構築することや生産性の向上を図るための協議会を設置して		

具体的な協議を行っていくと記載されております。そのため道の計画が明確にならないと町としての回答ができない状態で、国と道の情報を待っているところです。

委 員

うちのヘルパーも60歳を超えて雇用継続している方も多く、若い人が介護の現場に入ってくることが少ない。診療報酬の改定などもあるが、生産性が上げられていない状況でも国は給料、人件費を上げろと言う。介護現場は楽な仕事ではなく給料も安い。洞爺湖町は国や道の情報がないから生産性の向上について答えられないという中で、内容がわからないのに計画を策定できるのか、矛盾しているのではないか。やはり現場を直視しどのような人材、どのような年齢層の人が介護現場をカバーしているか理解したうえで進めてほしい。

事務局

貴重なご意見をいただきましたので、現場の声をきちんと聞きながらというところをしっかりと計画に反映していきたいと思います。

委 員

洞爺湖町も事業をやるのであれば事業主体として補助金や税金ありきではない採算が取れる事業をお願いしたい。洞爺湖町は高齢化率43%で高齢者2人もしくは独居の方が多い。高齢者でも住みやすい町であることは良いことだが、公的サービスを受ける必要が出てくる。ですが、最初から公的資金ですべて面倒を見るという考えでは今後続かなくなる。自助、互助といった考えをもって今後の事業計画を策定できればと思っている。

委 員

介護保険だけでなく医療保険、国保にも関わることですが、2026年に2年に一度の診療報酬の改定があり、開業医に対しての締め付けが厳しくなっている。洞爺湖町には3件の開業医がいらっしゃるが皆さん私より年上で、介護保険の運用に必要な主治医意見書もかなりの数を書いているはず。この方々がもしいなくなると、新規で開業することが厳しくなっている中で主治医意見書を書いてくれる方がいなくなってしまう。介護保険のみならず国保、医療保険との密接なかかわりがある中でそのような現状を事業計画に反映させることも必要だと考えています。

☐その他

☐閉会